

平成 27 年 度 教 育 奨 励 賞

教育奨励賞規則に基づき、平成27年度教育奨励賞(2件)を決定いたしました。

平成 28 年 2 月 1 日

公益社団法人 化学工学会 人材育成センター

教育奨励賞

西井 靖博氏
(新居浜工業高等専門学校)

〔教育実績〕

同氏は、高専生が小中学校での「出前授業」を主体的に企画運営する試みを小中学校教員と連携して6年に渡り継続的に実施し、地域に根差した独創的な人材育成を展開している。受講生の約7割が問題解決能力の向上を自覚するなど、高専生及び受入れ小中学校のいずれの評価からも、その高い教育効果が窺える。また、化学工学関連テーマを設定した「創造化学実験」をProject-Based learning型で実施しており、時間や費用などに関する一定のレギュレーションを定めて最大限の活動を指導している点は、高く評価される。さらに同氏は、これらの成果に関する数多くの報告を通じて、本教育手法の展開に大きく貢献しており、化学工学教育奨励賞を受賞するにふさわしい人物と認められる。



〔受賞者略歴〕

1999年4月 国立新居浜工業高等専門学校生物応用化学科助手
着任
2006年4月 同講師
2010年4月 同准教授
2014年5月～2015年2月 アメリカアイオワ大学にて在外研究
現在に至る

連絡先：〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7-1
新居浜工業高等専門学校

E-mail：nishii@chem.niihama-nct.ac.jp

〔主な業績〕

出前講義やProject-Based Learning形式での教育により高専生の主体性を巧みに引き出すことで、化学工学教育における問題解決能力の育成へと繋げる手法を提案し、且つそれを継続的に実践している。

教育奨励賞

内田 博久氏
(信州大学)

〔教育実績〕

同氏は、化学工学誌特集「我が国の化学工学教育の今と未来」(2015年1月号)の主査として、大学・高専における化学工学教育カリキュラムの現状把握、企業の現場担当者及びミドルマネージャを対象としたアンケート調査による産業界からの意見・要望のとりまとめ、並びに、化学工学を学びたい方への手引きの作成等に尽力した。これらは、化学工学会が直面する教育問題を豊かつ具体的なデータに基づいて提示したものであり、大学・高専教員のみならず、企業内における人材育成にも有用な視点を多く含んでいる。さらに同氏は、独自教材を活用した工学教育により信州大学工学部ベストティーチャー賞を4度受賞するなど、化学工学分野の教育者として高い技量と実績を有している。これらの観点から、同氏は化学工学教育奨励賞を受賞するにふさわしい人物と認められる。



〔受賞者略歴〕

1998年3月 九州大学大学院工学研究科化学機械工学専攻博士後期課程修了
1998年4月 (財)香川県産業技術振興財団附属研究所高温高压流体技術研究所研究員
1999年2月 東京農工大学工学部応用化学科助手
2004年4月 大阪府立大学大学院工学研究科物質系専攻化学工学分野講師
2005年4月 信州大学工学部物質工学科助教授
2007年4月 同准教授
現在に至る

連絡先：〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1
信州大学工学部物質工学科

E-mail：uchida@shinshu-u.ac.jp

〔主な業績〕

化学工学誌特集の主査として、現在の化学工学教育が抱える短期・長期的課題を整理し、産学の化学工学者が共有できる問題意識を明確に提示している。